

# 子育て楽しむならせとうち

こどもひろば  
推進事業  
-基本理念-

## 外遊びを楽しむまち。瀬戸内市

-基本方針-

- 「あんしん」人がいるから安心する、楽しくなる
- 「あったか」市民、市全体で子どもを見守る
- 「よくあそぶ」もっと自由に遊べる場をつくらう
- 「みんながつながる」子どもを真ん中に全世代がつながる



瀬戸内の多島美



瀬戸内市は、株式会社ボーネルンドと「瀬戸内市こどもひろばパートナー協定」を締結しています。

瀬戸内市マスコットキャラクター セツちゃん

<市の重要施策に位置付け>

「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」  
～そんな子育て世代の声から生まれた取組です。

きっかけ

大きな課題

充実してほしい  
子育て支援は?

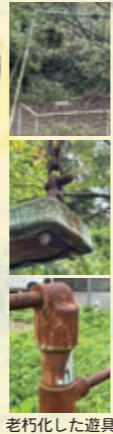
子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい(公園など)

就学前の児童の保護者 **81.1%**

小学校低学年の保護者 **65.1%**

0.0 50.0 100.0 [%]

資料：「瀬戸内市子ども・子育て支援に関する調査」平成30年度(瀬戸内市)



老朽化した遊具



市の主な子育て支援策 12の柱に掲載



第3次瀬戸内市総合計画 (令和4年1月)

実現したコト

- 国の交付金を活用 内閣府地方創生推進交付金(令和2年～4年)  
事業名：「子どもと過ごす瀬戸内市ライフプロジェクト」  
瀬戸内市の交付金事業が、少子化対策の取組事例として全国で紹介される(令和4年)  
→内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局のホームページ
- 全国自治体初！遊び環境充実に向けて、株式会社ボーネルンドとパートナー協定を締結
- 移動遊び場「プレーカー」を運行開始
- さまざまな民間事業者と連携  
こどもひろば開催サポートの委託  
社会福祉法人瀬戸内市社会福祉協議会  
安全運転講習協力 生活協同組合 おかやまコープ

実績

令和2年度からの累計  
こどもひろば  
参加者数  
約7,800人  
約250回開催  
(令和4年9月末時点)

まだまだ課題

これから!

- 計画策定  
みんなでつくる瀬戸内市こどもひろば基本計画  
第3次瀬戸内市総合計画(令和4年1月)  
第2次瀬戸内市教育大綱(令和3年4月)

<ふるさと納税ポータルサイト>  
こどもひろばを寄附で  
応援してください。

こどもひろば  
Facebook



こどもひろば  
Instagram



- 全天候型の遊び場「こどもパーク」の整備
- 人づくり・財源の確保

# いいまちには、あそびがある。



岡山県瀬戸内市



